

「全鍍連」 2022年 11月号 巻頭言

全鍍連 環境副委員長 水野 光隆 (株鳴海鍍金工業所 代表取締役)

「この業界への関りと今後について」



全鍍連・環境委員会の副委員長を仰せつかっている愛知県鍍金工業組合の水野でございます。私がこの業界に携わったのは18年ほど前に欧州廃車指令により六価クロメートのから三価クロメートへの切替わりの際に愛知県鍍金工業組合の青年部に当たる名鍍会にて三価クロメートについての講演会が開催されて際に出席しこの業界にも青年部があり、そこで業界に関する講演会等が開催されている事を知り入会させて頂いたのがきっかけです。

まず驚いたのが同業他社の人同士が非常に仲良くプライベートでも交流している事でした。私の会社は同業他社の方との交流はほとんど無く出入りの商社さんから他社の情報を聞くくらいだったのでビックリしたのをよく覚えています。そして名鍍会を通じ親会の愛知県鍍金工業組合、関東・大阪の青年部との日本鍍金協会、全国未来を担う若手の集い、更に全鍍連と業界内での幅が広がり、大変多くの方と携わさせて頂く中で多くの事を学びさせて頂きいつの間にかこの業界にどっぷり浸かり生活の一部になっていました。

さて昨今是我々業界を取り巻く環境問題は大きく変わってきました。数年前までは取引先からは ISO14001 の取得または安全リスクアセスメントへの取組みなど自社のリスク回避への取組みへの要望が多く自社にとっても有用な事案でもありましたが、昨今に要求される SDG s やカーボンニュートラルへの取組みは自社コストのUPや事業活動の停滞を招かない内容もあり、いつも間にか「企業は自社で働く人のため利益を追求しなければならない」から「企業は地球環境のために努力をしなければならない」という時代が変わってきました。まるで利益を追求する企業は悪であるといった風潮を感じるのは私だけでしょうか？・・・。環境保護・エネルギー削減とは別に企業は雇用する人への配慮も大きな取組み課題となってきました。障害を持たれている方はもちろん、外国人技能実習生など、既に雇用する人の多様化は進んでいます。が今後はトランスジェンダーの方への配慮も必要となってきます。弊社の取引先にジェンダーの方が働かれており、その対応に苦慮する事もあるとのお話を伺いました。その取引先はジェンダーの方への取組みについてSDG s 宣言をしているため社内は対応出来ているものの、その方の客先対応への業務に苦慮しているとの事でした。今後、我々の環境問題はそういった働く人の人権に関する問題への取組みも必要になってくるのではと思います。今後、全鍍連・環境委員会においても議論出来ればと考えております。